

宮崎県総合計画2023

[概要版]



もくじ

宮崎県総合計画とは 1

[長期ビジョン]

I 時代の潮流 2

II 目指す将来像 令和22年(2040年)の宮崎県の姿 3

III 目指す将来像の実現に向けた今後の方向性 4

[アクションプラン]

5つの重点プログラム

I コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生 6

II 希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり 8

III 「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍 10

IV 社会減ゼロへの挑戦 12

V 力強い産業の創出・地域経済の活性化 14

アクションプランに掲げる政策とSDGsの関連性 16



宮崎県総合計画とは

宮崎県総合計画は、「長期ビジョン」と「アクションプラン」で構成されます。

「長期ビジョン」は、令和22年（2040年）の将来像を描き、その実現に向けて解決すべき課題や今後の方向性など、本県がこれから進むべき道筋を示しています。

「アクションプラン」は、長期ビジョンに示す目指す将来像の実現に向けて、令和5～令和8年度（2023～2026年度）の4年間に重点的・優先的に取り組む5つの重点プログラムを設定しています。

※都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略としても位置づけています。

宮崎県総合計画の概念図

長期ビジョン 令和22年(2040年)を展望 【令和4年9月策定】

【基本理念】安心と希望の未来への展望

将来像 1	将来像 2	将来像 3
一人ひとりが生き生きと活躍できる社会	安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会	力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会

未来に必要な5つの要素(キーワード)

持続可能性	デジタル・先端技術・イノベーション	
人材力	地域力	きずな・つながり

今後の方向性

1	人口減少を前提とした安心して暮らせる地域社会の維持
2	暮らしを支え、未来を拓く産業づくり
3	人生を豊かに過ごせる地域づくり
4	将来の人口安定化に向けた社会づくり

アクションプラン(令和5～8年度の4年間)
【令和5年6月策定】

5つの重点プログラム

I	コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生
II	希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり
III	「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍
IV	社会減ゼロへの挑戦
V	力強い産業の創出・地域経済の活性化

部門別計画

知事の政策提案

長期ビジョン 令和22年(2040年)を展望

I 時代の潮流

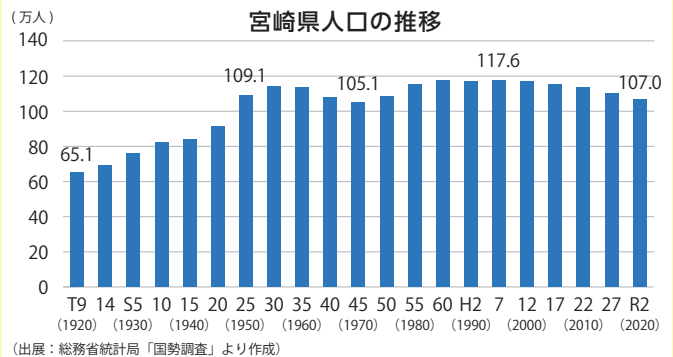
潮流1 人口減少・超高齢化の進行

【宮崎県の状況】

- ▶人口は平成7年の約117万6千人をピークに減少が続く
- ▶若者・女性の減少や未婚化・晩婚化により、出生数は年々減少する一方、高齢化が進行

【将来の課題】

- ▶生産年齢人口の減少により社会経済や暮らしへの影響が懸念
- ▶社会保障費の増加や税収減による財政の硬直化
- ▶人口減少・少子高齢化が当面続くことを前提とした社会づくり



潮流2 気候変動・自然の脅威

【宮崎県の状況】

- ▶風水害や地震、火山噴火等の自然災害の影響を受けやすい地理に加え、公共施設等の老朽化
- ▶省エネの推進、再エネの導入拡大

【将来の課題】

- ▶災害の頻発化、激甚化への対応、計画的な公共インフラの維持・更新
- ▶本県の強みを生かしたゼロカーボン社会づくり



潮流3 価値観や行動の変化

【宮崎県の状況】

- ▶移住相談や移住件数は増加傾向
- ▶高校生の県内就職率は上昇傾向にあるが、全国と比較すると低い

【将来の課題】

- ▶新たな価値観を捉えた地域づくり
- ▶SDGsを重視したライフスタイル、経済活動への転換



潮流4 デジタル化・先端技術の進展

【宮崎県の状況】

- ▶デジタル化の基盤となる情報通信環境の整備が全国よりも遅れている

【将来の課題】

- ▶人口減少に伴う諸課題の解決に向けた先端技術の積極的な活用
- ▶産業分野におけるデジタル化の推進による生産性向上、競争力の強化

潮流5 世界の中の日本・宮崎

【宮崎県の状況】

- ▶宮崎牛やマンゴーなど世界に誇る農畜産物を有する全国有数の食料供給基地
- ▶外国人の増加

【将来の課題】

- ▶国内市場が縮小する中、拡大する世界・アジア市場の活力の取り込み
- ▶世界的な人口増加や気候変動、食料問題への対応

変化の大きい時代にあっても、誰もが**楽しさ**や**幸せ**を実感できるために

目指す将来像



Ⅱ 目指す将来像 令和22年(2040年)の宮崎県の姿

基本理念

安心と希望の未来への展望



将来像1 一人ひとりが生き生きと活躍できる社会

- ▶宮崎に「残る」、「戻る」、そして「移る」人が増えている。
- ▶宮崎に誇りと愛着を持ち、確かな学力やこれからのグローバル、デジタル社会を生き抜く力を持った子どもたちが育っている。
- ▶性別や年齢、国籍や障がいの有無などに関わらず、それぞれの個性や能力を発揮し、一人ひとりが生き生きと活躍している。



将来像2 安全・安心で心ゆたかに暮らしを楽しめる社会

- ▶生活に不可欠な機能やサービスが維持されているとともに、自然災害や新たな感染症への対応など様々なリスクに柔軟に対応できる社会が構築されている。
- ▶本県ならではの豊かな自然環境を守り、自然と共生する姿を将来にわたって維持している。
- ▶デジタルや先端技術などがもたらす利便性を誰もが享受しつつ、他者とのつながりを大切にしながら、県民自らが望む生活スタイルを実現できている。



将来像3 力強い産業と魅力ある仕事があり、安心して働ける社会

- ▶先端技術を活用した新たなイノベーションや生産性の向上によって、成長産業が県内各地に展開するとともに、地域内での経済循環が図られている。
- ▶職・住・遊近接の恵まれた環境の中で、個々の能力や技術を生かした時間に縛られない柔軟な働き方が定着している。
- ▶全国トップクラスの豊かな食や自然、スポーツ環境の魅力を生かして、県内外・国外との交流が促進され、経済が活性化している。



III 目指す将来像の実現に向けた今後の方向性

目指す将来像（未来）を実現していくためには、人口減少を前提としながらも、本県が有する有形・無形の価値や魅力に、これからの社会に必要な要素を掛け合わせ、さらに新たな価値の創出へとつなげていくことが重要です。

宮崎の未来

=

独自の魅力・価値

×

5つの要素

新たな価値の創造

独自の魅力・価値

自然

歴史・文化

産業

営み

など

未来に必要な5つの要素（キーワード）

- | | | | |
|---|-------------------|---|--------------------------------|
| 1 | 持続可能性（サステナビリティ） | ▶ | 経済、社会、環境の調和を基軸とした価値観への転換 など |
| 2 | デジタル・先端技術・イノベーション | ▶ | 地域課題解決に向けた新しい技術の実装、価値の創造 など |
| 3 | 人材力 | ▶ | 郷土愛やチャレンジ意欲の醸成、多様な価値観の包摂 など |
| 4 | 地域力 | ▶ | 地域圏同士の連携・役割分担、資源や経済の地域内循環 など |
| 5 | きずな・つながり | ▶ | 人と人のつながりの尊重、コミュニティの強化、連携・補完 など |

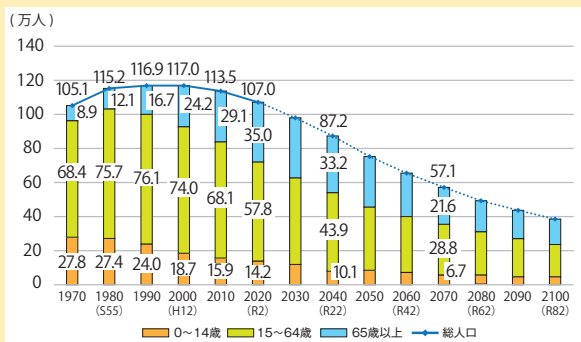
【宮崎県の人口推計と人口構成の変化】

本県の将来人口は、今後も現状の傾向が続いた場合、約20年後の令和22年（2040年）には87.2万人となり、生産年齢人口（15～64歳）の減少がさらに進行し、高齢化率は38.1%となる見通しです。

さらに、約50年後の令和52年（2070年）には、県人口は60万人を下回り、高齢化率も37.8%と高い水準で推移すると見込まれます。

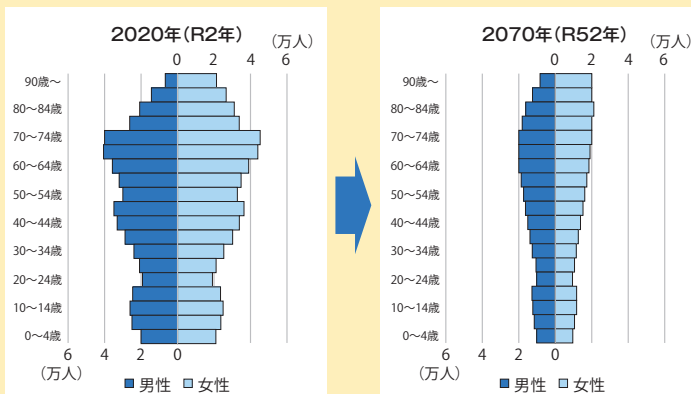


宮崎県の長期的な人口推計



（出典：2020年（R2年）までは総務省統計局「国勢調査」、2030年（R12年）以降は宮崎県独自推計により作成）

宮崎県の人口構成の変化予測（2020年（R2年）、2070年（R52年））



（出典：2020年（R2年）は総務省統計局「国勢調査」、2070年（R52年）は宮崎県独自推計により作成）

Ⅲ 目指す将来像の実現に向けた今後の方向性

地域・産業づくりに向けた対策

1 人口減少を前提とした安心して暮らせる地域社会の維持

- デジタル技術の活用や地域間での機能連携等による暮らしの維持
- 情報通信環境やデータ連携基盤等の整備・運用
- 地域防災力の向上、防災・減災対策の強化
- エネルギーの地産地消、シェアリングエコノミーの導入
- 移住促進をはじめ、交流人口・関係人口の裾野の拡大 など



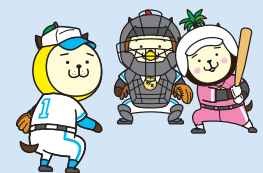
2 暮らしを支え、未来を拓く産業づくり

- 新しい技術による付加価値の高い新ビジネスの創出
- 地域の特性を生かした稼げる産業振興や県内企業の育成
- 外貨の獲得と地域内経済循環、海外市場の開拓
- デジタル人材、高度な知識・技能を有する外国人など産業人材の確保
- 県内外の観光客が感動する観光地域づくり など



3 人生を豊かに過ごせる地域づくり

- 誰もが健康や生きがいを実感できる自然・スポーツ環境づくり
- 人々が集い、様々な活動を楽しめる居心地の良い空間づくり
- 宮崎ならではの文化資源を生かした地域づくり
- 性別や年齢、国籍や障がいの有無等を越えて、魅力や価値が創造される共生社会づくり など



人口減少に向けた対策

4 将来の人口安定化に向けた社会づくり

- 出会いから結婚・出産・子育てまでの切れ目ない支援体制づくり
- 柔軟な働き方の推進など若者・女性の県内就職・定着の促進
- 場所にとらわれない働き方を促すテレワーク、ワーケーション環境の整備
- 郷土愛や、デジタル活用能力・語学力等を育む教育の推進 など



アクションプラン（令和5～8年度の4年間）

I コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生

長引くコロナ禍や物価高騰等により大きな影響を受けている県民の暮らしや県内経済を守るため、医療提供体制の確保など感染症対策にしっかりと取り組むとともに、宮崎再生基金等を活用し、生活困窮者等への支援をはじめ、観光や公共交通の需要喚起など、県民生活や経済活動の本格的な回復に向けた機動的かつ効果的な施策を展開し、宮崎県を再び成長軌道に乗せます。

《重点項目》

① 県民の命や健康を守る地域医療・福祉の充実

▶ 感染症への対応力の強化

感染まん延時の迅速な検査体制・医療提供体制の充実
保健所機能の維持や感染症に対応できる人材の確保・育成 など

▶ 地域における医療・介護提供体制の充実

へき地医療の機能維持やドクターヘリの運航支援
地域包括ケアシステムの推進 など

▶ 医療・福祉人材の確保・育成対策の強化

若手医師のキャリア形成支援と医師の地域偏在の是正
看護師や介護職員等に対する処遇改善・労働環境の整備促進 など



② 県民生活・地域経済の早期回復

▶ 貧困や孤立など困難を抱える人への支援

生活困窮者の自立相談支援体制の充実、ひきこもりの方への支援
ひとり親家庭やヤングケアラーへの支援充実、子どもの貧困対策の強化 など

▶ 精神保健対策・自殺対策の強化

社会情勢等により変化する不安や悩みに対する相談体制の充実
自殺対策を支える人材の育成や自殺未遂者・自死遺族への支援 など

▶ 中小企業・小規模事業者の支援等による県内経済の回復

観光・宿泊・公共交通の需要喚起
燃油・資材等高騰対策 など



③ 魅力あふれる「観光みやざき」の創生

▶ 「観光みやざき」の魅力発信と基盤づくり

G7宮崎農業大臣会合や宮崎県県人会世界大会等のイベント・レガシー活用
5つのS（食・スポーツ・自然・森林・神話）等を生かした観光プロモーション など

▶ 外国人観光客の誘客強化とみやざきMICEの推進

効果的なプロモーションの実施、多様なMICEの誘致・全県展開 など

▶ 国際水準のスポーツの聖地「スポーツランドみやざき」のブランド力向上

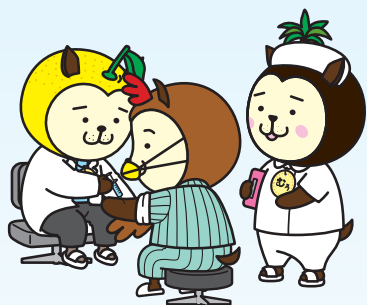
屋外型トレーニングセンター等を活用したスポーツ合宿・大会の誘致 など



指標一覧

指標	現況 (年次)	目標 (年次)
医療満足度	44.2% (令和4年度)	58.0% (令和8年度)
中山間地域における常勤医師充足率	71.1% (令和4年度)	81.1% (令和8年度)
看護職員数(常勤換算数)	20,094人 (令和2年末現在)	20,564人 (令和6年末現在)
介護職員数	21,730人 (令和3年度)	23,339人 (令和7年度)
生活保護世帯の子どもの高等学校等進学率	91.3% (令和3年度)	94.0% (令和8年度)
自殺死亡率 (10万人当たり自殺者数)	19.6人 (令和3年)	17.8人 (令和8年)
県内総生産(名目)	3兆7,219億円 (令和元年度)	3兆7千億円台 (令和6年度)
観光入込客数	1,013万人回 (令和3年)	1,650万人回 (令和8年)
観光消費額	1,051億円 (令和3年)	1,950億円 (令和8年)
外国人延べ宿泊者数	1万人泊 (令和3年)	36万人泊 (令和8年)
県外からのキャンプ・合宿延べ参加者数	12.9万人 (令和3年度)	25万人 (令和8年度)

※数値は、令和5年6月(アクションプラン策定時)のものです。



II 希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり

人口減少をはじめ、デジタル化の進展や世界的な脱炭素化の動きなど社会情勢が大きく変化中、安心と希望ある未来に向けて、スマートシティや脱炭素地域、未来技術の導入検討など新たな社会づくりに果敢に挑戦するとともに、交通・物流ネットワークの充実や県土強靱化対策など本県が持続的に発展していくための土台を創ります。

《重点項目》

① 希望ある未来への挑戦

- ▶スマートシティや脱炭素の地域づくりの推進
- ▶「歩いて楽しめる」まちづくりの推進
- ▶子どもたちが生き生きと学ぶことができる環境づくり
- ▶シェアリングエコノミーやサステナビリティ経営の推進
- ▶メタバース（仮想空間）等の未来技術の活用検討



② 交通・物流ネットワークの維持・充実

- ▶高規格道路の整備促進
- ▶港湾機能の強化
- ▶陸海空における公共交通の利便性向上
- ▶交通・物流ネットワークの維持・充実



③ 命や暮らしを守る災害に強い県づくり

▶災害に強い県づくり

土砂災害危険箇所等における砂防施設等の整備
新たな拠点施設の整備等による災害用備蓄物資の安定供給体制の強化 など

▶災害に強い人づくり・地域づくり

地域防災の中核となる人材の確保・育成
市町村の消防指令業務の共同運用化への支援 など



指標一覧

指標	現況 (年次)	目標 (年次)
高規格道路整備率	80.1% (令和4年度)	81.5% (令和8年度)
広域的な路線バスの利用者数	232.3万人 (令和4年度)	320万人 (令和8年度)
鉄道の平均通過人員 (日南線、吉都線)	日南線 594人 吉都線 408人 (令和2年度)	日南線 700人 吉都線 500人 (令和7年度)
フェリー利用者数(一般旅客数) フェリー貨物輸送量(トラック台数)	一般旅客数 9万4,609人 トラック台数 6万1,036台 (令和4年度)	一般旅客数 13万人 トラック台数 7.2万台 (令和8年度)
宮崎空港の乗降客数	139万人 (令和3年度)	350万人 (令和8年度)
緊急輸送道路改良率	85.0% (令和4年度)	85.5% (令和8年度)
河川改修が必要な区間の河川整備率	50.1% (令和3年度)	51.1% (令和8年度)
港湾の防波堤等整備	7,816m (令和3年度)	9,648m (令和8年度)
令和4年度台風第14号災害からの復旧率 (箇所数ベース)	3.9% (令和4年度)	100% (令和7年度)
防災士の数	6,674人 (令和4年度)	8,261人 (令和8年度)
災害派遣医療チーム(DMAT)数	33チーム (令和4年度)	35チーム (令和8年度)
災害に対する備えをしている人の割合	57.5% (令和4年度)	85.0% (令和8年度)
市町村災害時受援計画の策定数	20自治体 (令和4年度)	26自治体 (令和8年度)

※数値は、令和5年6月(アクションプラン策定時)のものです。



Ⅲ 「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍

本県の大きな課題である少子化対策を再構築し、合計特殊出生率や出生数増に向けた取組を強化します。また、併せて、宮崎で生まれた若者たちが地域の一員として郷土への誇りや愛着を持ち、「みやざき」の未来を切り拓く力として成長するとともに、女性や高齢者、障がい者、外国人など様々な人々が集い、個性や能力を発揮できるゆたかな県づくりを進めます。

① 子どもを生ま育てやすい県づくり

▶結婚・出産の希望がかなう環境づくり

出会いの機会の創出、産婦人科医・小児科医の確保・育成 など

▶安心して子育てしやすい環境づくり

子育てに係る不安や負担の軽減、保育士等の安定的な確保 など



② 未来を担う子どもたちの育成

▶新たな時代を生き抜く力を育む教育の推進

自ら学ぶ力や生きる力の育成、グローバル教育の推進 など

▶ふるさと学習やキャリア教育の充実

郷土に対する誇り・愛着を育むふるさと学習の充実 など



③ 一人ひとりが自分らしく生き生きと活躍できる共感・共生社会づくり

▶女性も輝く地域づくり

女性が働きやすい職場環境の推進 など

▶障がい者が自立し、安心して暮らせる共生社会づくり

本県初の「高等特別支援学校」の複数校設置による職業教育の充実 など

▶高齢者が生き生きと活躍できる環境づくり

NPOやボランティア活動に関する情報提供、就業機会の確保 など

▶外国人と共生する社会づくり・国際交流の促進

学校教育における外国人児童・生徒のサポート など



④ 健康・学び・スポーツ・文化の充実

▶疾病予防・健康づくりの推進

若い世代からの自主的な健康づくりの推進 など

▶生涯を通じて学び続けられる環境づくり

県民の文化活動の活性化に向けた社会教育施設の設備・機能の充実 など

▶県民のスポーツ活動・交流の促進

スポーツの場所と機会の提供 など

▶県民の文化活動・交流の促進

文化活動の成果発表や創作活動を行える環境づくり など



指標一覧

指標	現況 (年次)	目標 (年次)
合計特殊出生率	1.64 (令和3年)	1.8台 (令和8年)
病児保育事業実施施設数	32か所 (令和4年度)	35か所 (令和8年度)
みやざき結婚サポートセンターを通じた成婚数(累計)	136組 (令和4年度)	204組 (令和8年度)
育児休業取得率	男性 25.8% 女性 98.4% (令和4年度)	男性 50% 女性 100% (令和8年度)
全国学力調査における全国との平均正答数の比較 (全国を100とした指数)	97.0 (令和4年度)	103.0 (令和8年度)
科学の甲子園全国大会の順位	21位 (令和4年度)	10位以内 (令和8年度)
県内高校生の留学者数 (短期・長期留学)	61人 (令和4年度)	300人 (令和8年度)
ふるさとが好きだという児童生徒の割合	87.8% (令和4年度)	91.7% (令和8年度)
将来の職業や生き方を考えている中学3年生の割合	87.1% (令和4年度)	90.0% (令和8年度)
宮崎県は人権が尊重されていると思う人の割合	46.7% (令和4年度)	55.0% (令和8年度)
性別によって役割を固定化すべきでないとする人の割合	64.7% (令和4年度)	75.0% (令和8年度)
福祉施設から一般就労に移行する障がい者数	202人 (令和3年度)	259人 (令和8年度)
国際交流関連行事・活動に参加したことのある人の割合	14.0% (令和4年度)	20.0% (令和8年度)
外国人住民が暮らしやすいと感じる割合	92.2% (令和3年度)	100% (令和8年度)
特定健康診査実施率	49.9% (令和2年度)	70.0% (令和6年度)
成人の週1回以上のスポーツ実施率	50.6% (令和4年度)	60.0% (令和8年度)
日頃から生涯学習に取り組んでいる人の割合	53.4% (令和4年度)	60.0% (令和8年度)
日頃から文化に親しむ県民の割合	70.6% (令和4年度)	75.0% (令和8年度)

※数値は、令和5年6月(アクションプラン策定時)のものであります。

IV 社会減ゼロへの挑戦

これからの時代の担い手となる若者・女性の県内就業の促進や、移住・関係人口の拡大など「社会減ゼロ」の実現に向けた取組を展開するとともに、人口減少下にあっても、生活に必要な機能・サービスを維持し、全ての県民が安心して住み続けられる持続可能な地域づくりを進めます。

① 若者・女性の県内就業・県内定着の促進

▶ 「みやざきで暮らし、働く」良さの創出と情報発信

若者や保護者に県内で働くことの魅力を届ける仕組みづくり
インターンシップや企業見学会等の一層の充実 など



▶ 若者・女性の県内就職の促進

県内企業と若者のマッチング支援
奨学金返還支援の対象拡大等による県内定着の促進 など

② みやざき回帰・県外からの移住の促進

▶ 移住・U I J ターンの促進

受入体制の充実や就業に必要な支援
移住後のフォローアップ強化による移住者の定着促進 など



▶ 関係人口・交流人口の拡大

豊かな自然環境を生かしたワーケーションや農泊などグリーンツーリズムの推進
本県出身者等に本県情報を届ける仕組みやネットワークづくり など

③ 安心して住み続けられる持続可能な地域づくり

▶ 「宮崎ひなた生活圏づくり」の推進

地域課題の解決に取り組む人材の育成や地域運営組織の形成促進
生活に必要な移動手段の確保 など



▶ 中山間地域の振興

中山間地域の産業を支える担い手の確保・育成
地域の資源・特性を生かした産業の振興 など



▶ 県民本位のデジタル・ガバメントの推進

行政手続きのオンライン化による行政サービスの向上 など

▶ ゼロカーボン社会づくり

省エネ設備の導入促進
地域における循環経済（サーキュラーエコノミー）の促進 など



▶ 交通事故や犯罪が起りにくい地域づくり

県民の交通安全意識の向上と年齢・個々の特性に応じた交通安全教育の推進
高齢者・女性・子どもを守る取組の強化や犯罪被害者等の支援 など



指標一覧

指標	現況 (年次)	目標 (年次)
社会動態 ※前年10月1日から当年9月30日までの1年間の社会動態	全体 -1,072人 15～29歳 -2,434人 (令和4年)	全体 0人 15～29歳 -2,000人台 (令和8年)
県内高校新卒者の県内就職割合	62.5% (令和4年3月卒)	70.0% (令和8年3月卒)
県内大学等新卒者の県内就職割合	46.8% (令和4年3月卒)	55.0% (令和8年3月卒)
移住施策による移住世帯数	2,668世帯 (平成30～令和3年度)	4,000世帯 (令和5～8年度)
ふるさと宮崎人材バンクを通じた県内就職者数	193人 (令和4年度)	260人 (令和8年度)
自治体施策を通じたワーケーション受入数	374人 (令和3年度)	780人 (令和8年度)
これからも住み続けたいと思う人の割合	80.6% (令和4年度)	85%以上 (令和8年度)
新たに住民主体で取り組む生活支援サービス等の取組数(累計)	19 (令和4年度)	27 (令和8年度)
行政手続電子化率(手続き数ベース)	3.4% (令和3年度)	70%以上 (令和8年度)
特定地域づくり事業協同組合の設立数(累計)	2組合 (令和4年度)	7組合 (令和8年度)
移住施策による中山間地域への移住世帯数	757世帯 (平成30～令和3年度)	1,000世帯 (令和5～8年度)
温室効果ガス排出量の削減率(対平成25年度比)	28.3% (令和元年度)	38.2% (令和6年度)
電力消費量に占める再生可能エネルギー電力量割合	60.0% (令和3年度)	82.2% (令和8年度)
再造林率	73.3% (令和3年度)	80.0% (令和8年度)
刑法犯認知件数	3,716件 (令和元～4年の平均)	3,700件 (令和8年)
交通事故死者数	34人 (令和元～4年の平均)	31人 (令和8年)

※数値は、令和5年6月(アクションプラン策定時)のものです。



V 力強い産業の創出・地域経済の活性化

デジタル人材など本県産業を支える人材の確保をはじめ、スタートアップ企業の育成や先端技術産業の振興、さらには、中小企業等のデジタル化やゼロカーボンへの対応など、経営基盤の強化や生産性向上に向けた取組を展開します。また、併せて、本県の強みである豊富な農林水産資源や地域特性を生かした産業の一層の高付加価値化・成長産業化を促進します。

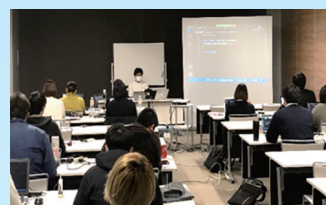
① 産業を支える多様な人材の確保・育成

▶人材育成プログラム等の充実によるリスキリングの推進

▶ICT技術者等の確保・育成

▶豊富な経験や専門知識を有する都市部の人材を兼業・副業人材として活用

▶高度な技術等を有する外国人の受入れ促進



② 新産業の創出と地域経済の活性化

▶新産業の創出と成長産業の育成

スタートアップ企業の育成や企業の新事業創出支援
フードビジネス推進基盤の充実・強化 など

▶世界市場への積極的な展開

海外拠点機能等を活用した県産品の認知度向上
デジタルやAI技術を活用した県産品の海外販路拡大 など

▶地域経済を支える中小企業・小規模事業者の成長促進

県内事業者のデジタル化に向けた相談体制・伴走支援体制の構築
起業・創業を希望する移住者・学生などへのチャレンジ支援 など



③ 稼げる農林水産業への成長促進

▶担い手の確保・育成

就業相談や就業体験の実施による新規就業者の確保
外国人、障がい者など多様な雇用人材の確保 など

▶先端技術等を活用した持続可能な農林水産業への転換

スマート農林水産業の促進
脱炭素や有機農業など環境に優しい農業の推進 など

▶国内外への販路拡大・販売力の向上

販売力の強化と物流の効率化 など

▶危機事象に負けない生産体制の強化

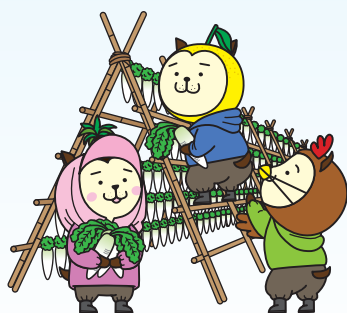
家畜防疫・植物防疫体制の強化 など



指標一覧

指標	現況 (年次)	目標 (年次)
ICT人材等とのネットワーク登録者数(累計)	64人 (令和4年度)	250人 (令和8年度)
県の施策による基本情報技術者試験の本県合格者数(累計)	— (令和4年度)	40人 (令和8年度)
プロ人材と県内企業とのマッチング成約数(累計)	241件 (令和4年度)	443件 (令和8年度)
県の施策による外国人留学生等の県内就職内定者数	9人 (令和4年度)	20人 (令和8年度)
県内経済成長率(名目)	-1.5% (令和元年度)	プラス成長を維持 (令和6年度)
1人当たりの労働生産性(向上率) ※県民経済計算における県内総生産を、県内就業者数(経済活動別就業者数/就業地ベース)で除したもの	6,851.7千円 (令和元年度)	令和元年度比 5%増 (令和6年度)
製造品出荷額等	1兆6,368億円 (令和2年)	1兆7,788億円 (令和6年)
食品関連産業の付加価値額	3,342億円 (令和2年度)	3,480億円 (令和6年度)
新規開業事業所数	868件 (令和3年度)	1,000件 (令和8年度)
輸出額	1,961億円 (令和3年)	2,275億円 (令和8年)
農林水産業の新規就業者数	613人 (令和3年度)	710人 (令和7年度)
農業産出額	3,478億円 (令和3年)	3,569億円 (令和7年)
漁業・養殖業産出額	425億円 (令和2年)	533億円 (令和7年)
林業産出額	298億円 (平成29～令和3年の平均)	291億円 (令和7年)
農林水産物輸出額	174.5億円 (令和3年度)	179.1億円 (令和8年度)

※数値は、令和5年6月(アクションプラン策定時)のものです。



アクションプランに掲げる政策とSDGsの関連性

政策ごとに、SDGsに掲げられている17のゴールとの関連性を整理しています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
プログラムⅠ コロナ禍・物価高騰等からの宮崎再生																		
政策1 県民の命や健康を守る地域医療・福祉の充実			●					●										●
政策2 県民生活・地域経済の早期回復	●	●	●	●				●		●							●	●
政策3 魅力あふれる「観光みやざき」の創生								●	●									●
プログラムⅡ 希望ある未来への飛躍に向けた基盤づくり																		
政策1 希望ある未来への挑戦			●	●			●	●	●	●	●	●	●					●
政策2 交通・物流ネットワークの維持・充実									●	●	●	●	●					●
政策3 命や暮らしを守る災害に強い県づくり		●	●						●	●	●	●	●					●
プログラムⅢ 「みやざき」の未来を創る人材の育成・活躍																		
政策1 子どもを生き育てやすい県づくり			●	●	●													●
政策2 未来を担う子どもたちの育成				●														●
政策3 一人ひとりが自分らしく生き生きと活躍できる共感・共生社会づくり			●	●	●			●		●							●	●
政策4 健康・学び・スポーツ・文化の充実			●	●														●
プログラムⅣ 社会減ゼロへの挑戦																		
政策1 若者・女性の県内就業・県内定着の促進				●				●										●
政策2 みやざき回帰・県外からの移住の促進								●			●							●
政策3 安心して住み続けられる持続可能な地域づくり		●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
プログラムⅤ 力強い産業の創出・地域経済の活性化																		
政策1 産業を支える多様な人材の確保・育成				●				●	●									●
政策2 新産業の創出と地域経済の活性化								●	●				●					●
政策3 稼げる農林水産業への成長促進		●	●				●	●	●			●	●	●	●	●	●	●



【貧困をなくそう】

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



【飢餓をゼロに】

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



【すべての人に健康と福祉を】

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



【質の高い教育をみんなに】

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



【ジェンダー平等を実現しよう】

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う



【安全な水とトイレを世界中に】

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



【エネルギーをみんなにそしてクリーンに】

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



【働きがいも経済成長も】

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する



【産業と技術革新の基盤をつくろう】

強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



【人や国の不平等をなくそう】

各国内及び各国間の不平等を是正する



【住み続けられるまちづくりを】

包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する



【つくる責任つかう責任】

持続可能な生産消費形態を確保する



【気候変動に具体的な対策を】

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



【海の豊かさを守ろう】

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



【陸の豊かさを守ろう】

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



【平和と公平をすべての人に】

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



【パートナーシップで目標を達成しよう】

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

計画の進行管理と着実な推進

アクションプランに掲げた取組を着実に実施していくため、取組状況について検証を行い、次年度以降の施策展開に生かします。



MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.





宮崎県総合計画2023 [概要版]

発行／問い合わせ先

宮崎県総合政策部総合政策課

TEL:0985-26-7607 FAX:0985-26-7331

E-mail:sogoseisaku@pref.miyazaki.lg.jp



宮崎県庁ホームページ
